

動く、創る、変える

政策提案と実現に走り続けて30年

横浜市会議員（南区）

仁田まさとし

横浜市会議員としての活動が今年で30年を迎えました。「動く、創る、変える」をモットーに政策提案と実現のため走り続け、現在8期目に入っています。主に取り組んできた防災減災対策と子育て支援策について振り返ります。

市民の命と財産を守るための防災減災対策では、崖崩れ警戒区域改善対策事業の創設や雨水幹線などの浸水対策、防災・減災推進研修の実施、学校体育館へのエアコン設置と災害時のWIFI整備などを推進。災害情報を扱う「よこはまテレビ・プッシュ」事業を進めています。

安心して子育てできる環境に向けては、障害児者歯科診療の環境整備や放課後キッズクラブモデル事業、子育て家庭応援事業（ハマハグ）の実施、子育て世代包括支援センターの設置と母子保健コーディネーターの配置、地下鉄の中学生郊外活動支援運賃制度の創設など多岐にわたり取り組んでまいりました。

安心して子育てできる環境に向けては、障害児者歯科診療の環境整備や放課後キッズクラブモデル事業、子育て家庭応援事業（ハマハグ）の実施、子育て世代包括支援センターの設置と母子保健コーディネーターの配置、地下鉄の中学生郊外活動支援運賃制度の創設など多岐にわたり取り組んでまいりました。

安心して子育てできる環境に向けては、障害児者歯科診療の環境整備や放課後キッズクラブモデル事業、子育て家庭応援事業（ハマハグ）の実施、子育て世代包括支援センターの設置と母子保健コーディネーターの配置、地下鉄の中学生郊外活動支援運賃制度の創設など多岐にわたり取り組んでまいりました。

定期接種化など市民生活の安心を推進するための活動を残してきました。

小児医療費助成と中学校給食に全力

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。

横浜市では、通院に係る小児医療費助成の対象年齢が中学3年生まで拡充されています。この制度の導入には、公明党横浜市会議員団（以下、公明市議団）の粘り強い取り組みがありました。発端は1992年。公明市議団が3歳未満児の医療費無償化を横浜市でも実施すべきと主張したことが始まりでした。



仁田まさとし プロフィール

- 政策経営・総務・財政委員会 副委員長
- 基地対策特別委員会

◇施政方針は「動く、創る、変える。」
ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
f x ライン 情報発信中